



▲春にみられる口人区の鯉のぼり



▲神吉風の市

各地域で活性のためにさまざまな取り組みが行われています。

※**限界集落・準限界集落**
 限界集落は、65歳以上の高齢者の割合が50%を超えるようになり、冠婚葬祭や農作業における互助など、社会的な共同作業が困難になった集落。
 準限界集落は、55歳以上が50%を超える集落。
 (H30年度のもの)
 限界集落…65歳以上
 準限界集落…55歳以上

南丹市では平成23年度から集落支援員を配置し、集落での地域活性化の取り組みを支援しています。

各集落では、市や京都府の補助事業を活用し、地元歴史的资源を活用した観光事業、田畑を利用した景観保全事業、地元野菜や伝統食品の販売事業、ハイキングや農業体験による都市住民との交流事業など、地域を元気にする取り組みが行われています。

今回は、集落で行われている地域活性化の取り組みについて、その一部を紹介します。

集落の取り組みを支援

みんなで描こう

協働のキャンバス 49



▲天引ほたるコンサート

園部町では46集落のうち、30集落が限界または準限界集落となっています。

天引区では、林業の衰退で行われなくなった炭焼きの復活に取り組みられたほか、水辺の生物調査や月2回の野菜市も行われています。昨年6月の「ほたるコンサート」には、800人の参加者がありました。区の会議では「自由に発言する」「人の発言を否定しない」「前例にとらわれない」「すぐには実現できなくても夢を語る」の4原則に則った話し合いを大切にされています。

園部町での取り組み

口人区では「くちうどの郷野菜市」が月2回行われています。屋台営業の許可も取得され、来場者と区民の貴重な交流の場となっています。また毎年4月下旬には多数の鯉のぼりが揚げられ、壮観な光景となっています。

千妻区では、裏山に子供広場が整備されたほか、集落総出で苗を植え、春先には美しい「菜の花ロード」が出現します。

また、竹井区では今年度、勉強会や視察の結果をもとに、来年度以降の活動について計画を練られているなど、新たな活動も始まっています。

八木町での取り組み

八木町は45集落のうち、27集落が限界または準限界集落となっています。

神吉地域では、平成18年から地元住民の交流を目的に手づくり市「風の市」に取り組まれています。8月を除く4月から12月の毎月